



## 【 最高学年に向けて今が勝負だ 】

○ 卒業証書授与式まで残り少なくなり、6年生は卒業に向けていろいろなことに取り組んでいます。同時に、6年生から5年生へ、委員会活動や掃除等のリーダーの引継ぎを行っています。今日の委員会では、5年生が中心となって進めていました。



○ また、今、5年生は、卒業式や卒業おめでとう集会に向けてプロジェクトを作り、一生懸命に取り組んでいます。大変感心します。そして、22日（火）、私は「**最高学年になる5年生の皆さんへ**」という話題で、5年生の子供たちに話をする場を設けさせてもらいました。

○ 「**令和4年度、頼む!**」と板書して、「①同級生として」「②学校長として」「③元担任として」の3つの立場から話をしました。①については、「令和4年度は、皆さんは井波小学校に6年間過ごして卒業する。私も、井波小学校には、平成3～6年度に勤めた4年間、令和3、4年度の2年間の計6年間過ごしたことになり、令和4年度はみんなと一緒に井波小学校を卒業する。つまり、私と皆さんはある意味、同級生です。だから、一緒に最後の一年間、井波小学校のために力を出そう。」というような話をしました。

○ ②については、「私は南砺市で井波小学校が一番よいと思っている。来年度も一番よい学校にしたい。そのためには、6年生で決まる。学校がよいということは、6年生がよいことである。6年生の力は大きい。そのためには、5年の3学期の今が勝負である。今、卒業式まで本当に一生懸命にやったなら、素晴らしい6年生になれる。だから、今、いかに自分のすべきことをしっかりできるかにかかっている。」というような話をしました。

○ ③については、「私がある学校で、6年を担任していた時、『5年の3学期が勝負だ!』と思い、子供たちにそのことを伝えた。子供たちも「そうだ!」と納得し、卒業式まで一生懸命に取り組んだ。担任の私も一生懸命だった。そして、卒業式が終わったとき、みんなの頑張りを称え、ある子供が前に出て、教室でみんなで『万歳三唱』をした。みんなやり切ったと思っていたのだ。みんなにも、このような姿を目指してほしい。」というような話をしました。

○ 子供たちは、真剣に聴いていました。今の6年生からきちんとバトンを受け継いで、今、学校のリーダーになる準備を確実に実行し、そして**4月から井波小学校の顔となるりっぱな最高学年になると信じ、期待**しています。